学校番号	117

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校改訂版新現代社会　（第一学習社）						
副教材等	最新図説　現社（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業においては、現代世界の諸問題について学び、自分の「意見」を持てるようにする。
・ノートと教科書を用意してください。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめず取り組みましょう。

２　学習の到達目標

・現代社会における諸問題について知識を深め、それぞれの事柄について自分の意見を持てるよう考察する。
・現代社会における当事者としての態度を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界における課題について当事者として関心を持ち、意欲的に考察・探求しようとしているか。国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活実現のために、地域・国家・世界に参画する態度を身につけているか。	現代世界における課題について考察し、より良い社会実現のために多面的・多角的に思考しているか。また他者の意見を取り入れつつ公正・公平に判断しているか。理解したことをノート等で適切に表現できているか。	現代世界における課題に関する諸資料をメディアや本を通して適切な情報を収集することができるか。また、収集した情報を他者に伝えるために整理しまとめることができるか。 社会の諸問題について探求する方法を身につけているか。	現代世界における課題に関わる基本的な事項について、体系的、総合的に理解し、その知識を身につけているか。
評価方法	ノート提出 討論・発表 学習の振り返り	定期テスト ノート提出 討論・発表 学習の振り返り	定期テスト ノート提出 討論・発表 資料の読み取り 学習の振り返り	定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	私たちの生きる社会	青年期		○	○		a:現代世界の諸課題について意欲的に考察しようとしている。 b:現代世界の諸課題について多面的・多角的に考察ができている。 c:現代世界の諸課題に関する資料を適切に読み取り、効果的に活用している。 d:現代世界の課題の現状について理解している。	定期テスト ノート提出 討論・発表 学習の振り返り
		地球環境問題	○			○		
		資源・エネルギー問題	○		○	○		
二学期	現代の民主性維持と日本国憲法	現代国家と民主政治	○			○	a:基本的な現代の政治のしくみについて意欲的に考察しようとしている。 b:現代政治の諸問題について多面的・多角的に考察ができている。 c:現代政治に関する資料を適切に選択し、効果的に活用している。 d:基本的な現代政治のしくみや現状を理解している。	定期テスト ノート提出 討論・発表 学習の振り返り
		日本国憲法の基本的性格		○		○		
		平和主義とわが国の安全	○	○	○			
三学期	現代の経済社会と国民生活	現代の経済社会		○	○		a:基本的な日本経済のしくみに関心を持ち、その意義について意欲的に考察している。 b:基本的に日本経済のしくみについて多面的・多角的に考察している。 c:経済のあゆみに関する資料を適切に読み取り、効果的に活用している。 d:基本的な経済のしくみや日本経済の歩みについて理解している。	定期テスト(論述問題など) ノート提出 討論・発表 学習の振り返り 資料の読み取り
		日本経済の特質と国民生活	○			○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。